



共創型ものづくり等支援事業

※本チラシは予告です。内容変更の可能性がありますので、必ず正式募集案内をご確認ください。

消費者ニーズの多様化、商品ライフサイクルの短縮化等が一層進む中で、生産設備や情報、ノウハウなどの経営資源を複数社で相互に活用するなど、劇的な生産性向上、競争力の高い製品・サービスの開発等を迅速に進めようとする企業連携グループを支援します。

(※)京都府が推進している「産業創造リーディングゾーン」関連の取組や、グローバル展開を図る取組などを特に求めています。

【募集期間】令和6年4月1日(月)～5月31日(金)※予定

【補助期間】交付決定日※から令和7年1月31日

※事前着手が認められた場合はR6/4/1～可(直接人件費を除く)

補助対象者

京都府内に拠点を有する2社以上の企業で構成される企業連携グループ※

※中小企業者を代表企業とすること。構成企業には京都府内に拠点を有する大企業も参画可。

① 連携体制構築コース

グループ形成に向けた連携ルール策定、事業計画等で必要となる取組(勉強会、市場調査)及び試作品開発、テストマーケティング等の取組

【補助率】 **1/2** (15%※)

【補助上限額】 **500**万円以内

※土地造成費、建物建設費、量産設備は15%

② 連携事業実践コース

経営資源の共有化による、企業連携ビジネスの実践に向けた機器・システム・生産技術等の開発、販路開拓・量産・流通体制の整備等の取組

【補助率】 **1/2** (15%※)

【補助上限額】 **4,000**万円以内

※土地造成費、建物建設費、量産設備は15%

対象経費

- ①旅費、②直接人件費※、③材料費・消耗品費、④財産・備品購入費等、
⑤外注・委託費、⑥大学等研究機関との受託(共同研究費)、⑦その他直接経費

※事前着手日から交付決定日までの間の「直接人件費」は補助対象外となります。

※この補助金は、令和5年度京都府議会2月定例会の当初予算案として計上している事業であり、実際の事業実施には、当該予算案の可決・成立が前提となります。

◆想定事例

あくまでも一例であり、多数の支援実績がありますので、お気軽にご相談ください！

①連携体制構築コース

- XRデバイスの開発企業とCGデザイン会社が協働し、多言語対応型ARグラスの試作・開発
→インバウンド増加に伴う通訳の不足を解決
- 老舗食品会社と広告代理店が連携し、ポイントカードの顧客データ分析による新商品の開発・テストマーケティングの実施
→新規市場開拓で新規顧客の獲得を目指す。

②連携事業実践コース

- 菓子企業3社が連携し、デザインやパッケージング・量産化のノウハウを共有
→新規顧客の獲得に向けての商品開発や海外への販路開拓を実現
- アニメコラボ商品を多数手がける企業が主体となり、地域産業とメディアコンテンツを繋ぐハブ拠点を構築
→地域産業の振興や観光誘致に貢献

産業創造リーディングゾーン

地域の歴史や産業集積などの特性を踏まえた、新たな産業創造のためのリーディングゾーンを府内各地に配置して、国際的なオープンイノベーションを展開することにより、世界的な競争にも打ち勝てる産業が創出され続ける京都産業を目指します。

↓例えば、以下のゾーンではこのような取組を求めています。

ZET-valley

脱炭素技術の集積によるゼロカーボンまちづくりを進めるため、特にEV、バッテリー、バイオものづくり関連のプロジェクトを求めています。

(例)eVTOL分野への参入、新規バッテリー材料開発、CO2由来材料開発、未利用食材による建設材料開発、森林CO2排出量管理、イネの植物工場、ロボット共生カフェ、等

太秦メディアパーク

コンテンツ、DX・ICT等の技術を活かした異分野融合拠点の形成を進めるため、メタバースを用いた社会拡張・別世界創生などを図るプロジェクトを求めています。

(例)仮想空間からのロボット操作システム開発、NFT・DAOを活用した次世代マーケティング、等

あくまでも例示です。様々な取組をお待ちしております！

お問合せ先

京都府商工労働観光部ものづくり振興課(電話:075-414-5106)
〒602-8570京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町